

Ⅵ. 外国人コミュニティ紹介冊子

自助組織の活動を広く県民に周知するため、団体設立の経緯や個別のエピソード、活動の様子を写した写真等を掲載した冊子を作成した。

1. 冊子の構成

冊子の構成は下記の通りである。

規格：A4 フルカラー、32 ページ

発行部数：1,500 部

配布先：県内自治体及び国際交流協会、「外国人コミュニティフェア 2012」来場者等

内容：

タイトル「在住外国人 NPO 紹介ブック みんなでつくる多文化あいち」

1 あいさつ

2 国紹介

ウガンダ共和国、中華人民共和国、フィリピン共和国、ブラジル連邦共和国、ペルー共和国

3 愛知県に住む外国人

4 団体紹介

Asociacion Peruana de Aichi Apoyo (APEAA)、ILLARIY DEL PERU、華豊の友、Centro Educacional Happy Family、多文化のまちづくり（旧ラテン子どもの会）、名古屋アフリカ移住者センター、保見ヶ丘ブラジル人協会、United Filipino Community in Higashiura

5 写真コーナー



2. 作成過程

冊子の作成においては、各団体に意見を聞く時間を設け、各団体の声が直接冊子に反映されるよう心掛けた。「国紹介」では、8 団体のメンバーにルーツのある国の紹介を行った。紹介に際して、メンバーより各国の良いと思うところを聞き、話者やイメージ写真とともに掲載した。「愛知県に住む外国人」では、8 団体のメンバーに愛知県についての想いを聞いた。「団体紹介」では、ヒアリング調査結果、研修会、個別サポート等を通じて聞いたエピソードを掲載した。冊子はストーリー形式にするとともに、メンバーの想いを中心に掲載するなど、読者の共感を呼べるよう工夫を凝らした。「写真コーナー」では、各団体の写真を多数掲載し、活動の様子を伝えた。

3. 各団体の声

各団体に、冊子について見て感じたことを尋ねたところ、下記の回答が得られた。

- | | | | |
|------------------|-----|-------------|-----|
| ・活動を紹介するのに大変効果的だ | 7 人 | ・少しは効果的だ | 0 人 |
| ・効果的だ | 1 人 | ・まったく効果的でない | 0 人 |

<個別意見>

- ・冊子を変に気に入っている。これまで行ってきた活動が無駄ではなかったことがわかった。冊子を通じて、一般の人が各コミュニティがどのような活動をしているのかわかってくれると思う。
- ・今の活動内容をコンパクトにまとめてくれているので、使いやすい。中国の宣伝に役に立っている。
- ・冊子で団体を紹介するのはよいアイデア。冊子を通して他の方がそれぞれがどんな活動をしているのかわかった。
- ・明確な内容だった。
- ・この冊子を会社の友達にあげたところ、皆がよろこんでいた。

VII. 事業評価

本事業の取組みについて、効果を把握するために下記のポイントに留意して評価を行った。

【評価ポイント】

- ・長期的効果
- ・自助組織内での継続可能性及び発展性
- ・自助組織の満足度
- ・モデル化及び他の事例への応用可能性

本事業の個別サポート終了時に各団体に行ったアンケート調査結果を下記にまとめる。

1. 集合研修

◆広報研修

(1) 参加して良かったと思いますか？

- ・とても良かった 6人
- ・まあまあ 2人
- ・良くなかった 0人

(2) 研修で学んだことは役に立ちましたか？

- ・とても役に立った 5人
- ・まあまあ 2人
- ・役に立たなかった 0人
- ・今は必要ないが将来役に立ちそうだ 0人

<コメント>

- ・会のチラシを作るときに対象を決めることがポイントだと学びました。
- ・全部がとても良かったです。他の外国人や異なる文化・異なる考え方の人との出会いはとても素晴らしいです。一般的には自分たちのコミュニティで情報を得ますが、このワークショップでは、日本人コミュニティから様々な情報を得ることができました。
- ・他の団体と一緒に参加できて、とても良かったです。
- ・もう少し沢山の方が出席されるかと思った。今回の研修、そしてコミュニティフェアで皆仲良くなったので、次回からもっと盛り上がると思います。
- ・この研修で学んだ事をその場で実際にやりたかったです。
- ・回数をもっと増やす必要があります。内容は100%だと思いますが、一度に習う量が多いので自分は10%しか身につけていないような気がします。
- ・メッセージの伝え方やコミュニケーションの取り方を学ぶことができて良かった。

◆資金研修

(1) 参加して良かったと思いますか？

- ・とても良かった 6人
- ・よかった 1人
- ・まあまあ 0人
- ・良くなかった 0人

(2) 研修で学んだことは役に立ちましたか？

- ・とても役に立った 4人
- ・まあまあ 3人
- ・役に立たなかった 0人
- ・今は必要ないが将来役に立ちそう 0人

<コメント>

- ・非常に多くの示唆を得ました。
- ・とても良かったです。いろいろなことを勉強できました。
- ・おもしろい事をたくさん学びましたが残念ながら難しい日本語が多かったなので、いろいろなメモを取れませんでした。できたら資金の研修についてスペイン語のガイドブックがあればいいですね。
- ・セミナーは、地域内の異なる外国人コミュニティについて理解するとともに、様々な収入源のうち助成金や資金を確保する方法があることを学ぶのに役立ちました。助成金ごとにアプローチの仕方が異なることを学びました。

2. フィールドワーク

(1) 参加して良かったと思いますか？

- ・とても良かった 3人
- ・まあまあ 0人
- ・良くなかった 0人

(2) 内容について

- ・とても参考になった 4人
- ・まあまあ 0人
- ・参考にならなかった 0人

<コメント>

- ・他の団体さんの活動やニーズや悩みを知ることができました。
- ・フィリピンと韓国のコミュニティのための活動を見て、やはり、困っている事があるとその中からアイデアが生まれるので、一生懸命やれば、いろんなプロジェクトができると思いました。
- ・とても楽しく学ぶ機会をいただきました。私たちはとてもリラックスした状態で他の

外国人コミュニティと意見交換を行い、愛知県内の経験豊かな外国人グループから多くを学びました。どの組織も問題を抱えているということが、このツアーを通じて実証されました。大切なのは、それらの課題をどのように解決し、目標に向かっていくかです。

- ・ブラジルや在日コリアンの団体について新たに知ることができました。日本人と在日コリアンの歴史は、私たちにとって教訓となるでしょう。

3. 個別サポート

(1) 満足度

- ・とても満足している 5人
- ・満足している 1人
- ・まあまあ 2人
- ・満足していない 0人

(2) 内容について

- ・とても満足している 6人
- ・まあまあ 1人
- ・ちょっと 1人
- ・満足してない 0人

<コメント>

- ・サポートはとても良かったです。いろいろなことを覚えました。
- ・とても良い内容でした。このようなことを覚えることが必要だと思いました。
- ・私にとっては全部が新しい内容でした。助成金に申請するのに、もっと深いところまで指導をしてほしかったです。
- ・この研修で学んだ事を実際に行う時に、NPOについてのオリエンテーションやプロフェッショナルに指導する人がいれば良いと思います。私たちはNPOについては新入生からです。
- ・NPOによる今回のようなサポートシステムは、たくさんの知識・情報・経験を得るのに役立ちました。今回のサポートは、私たちの組織を次のレベルまで引き上げました。わたしたちはたくさんの重要な人に会ったり、イベントに参加したりする中で、コミュニティ内での自分たちの団体の重要性と意義を見出しました。わたしたちは、今回の事業に参加するまで、自分たちの視野や活動が町内に限られていたことを認めざるを得ません。しかし、今私たちは成長し、新たな視点を持てるようになりました。

4. 外国人コミュニティフェア 2012

(1) 外国人コミュニティフェア 2012 の内容について

- ・とても満足している 5人

- ・まあまあ 2人
- ・満足していない 1人

<コメント>

○良かった点

- ・他の団体と交流ができ、彼らの活動を知ることができたことに加え、私たちの活動を一般住民に紹介できて、とてもよかった。
- ・今回は団体の活動や母国の文化を紹介するととても良い機会でした。
- ・非常に良かったです。たくさんの外国人団体とお話できて、今後幅広く活動につながっていくだろうと期待しております。
- ・自分たちの活動を広く知っていただく良い機会でした。今回は私たちにとって初めての大きなイベントでしたので、他のグループを見てどのように紹介すると効果的かを学ぶことができて幸せでした。エケコ人形づくり、ペルーの伝統舞踊レッスン、ブラジルの民族衣装の試着など参考になりました。その他に、ビデオの上映や良いプログラム、良い会場も気に入っています。

○改善提案

- ・食べ物の紹介ができると良いと思います。
- ・広くてアクセスが簡単で、無料の駐車場がある場所が良いです。
- ・私たちのグループは人数が多く移動するのにお金がかかりますが、現在はその予算があまりないのでごく厳しいです。今後、イベントに誘って頂く時は経済の面を考えてほしいです。
- ・場所についてはオープンより仕切った空間のほうが個人的にはよかったと思います。
- ・イベントをする時に文化紹介のなかでその国の本や DVD も紹介した方が良いと思います。
- ・隣の団体とのスペースが近すぎると思いました。
- ・より多くの人を惹きつけるために、もっとたくさんのアクティビティを追加した方が良いと思いました。

5. 事業全体

(1) 満足度

- ・とても満足している 6人
- ・満足している 2人
- ・まあまあ
- ・満足していない

(2) 内容について

- ・とても役に立った 6人
- ・まあまあ 1人

- ・役に立った 1人
- ・役に立たなかった

<コメント>

- ・とても役に立ちました
- ・知らないことばかりでしたので、とても勉強になりました。
- ・サポートはとても役立ちました。今回のプロジェクトの一員になれて幸せです。今回のプロジェクトは私たちのコミュニティと日本社会をつなぐ架け橋です。セミナーや他の団体から学ぶことのできた今回の機会はとても参加のし甲斐がありました。私たちは NPO のサポートが終わったあとでも、町を超えて活動を広げていけると信じています。
- ・今回のサポートは私たちの団体に大変役立ちました。私は今後も変わらずサポートが続くことを望んでいます。
- ・団体内で資金的な課題がありましたので、いろいろなイベントに私たちの団体にできる範囲で参加しました。
- ・NPO 法人の作り方の説明を聞いて、特に日本語を分からない場合はやはり NPO を作るのは難しいという事を理解しました。

6. 今後について

<コメント>

- ・外国人の子どもが母語を維持できるようサポートしてほしい
- ・保健所では動物を殺処分するのではなく、去勢するようにしてほしい
- ・また外国人の団体と一緒にイベントに参加したいです
- ・何の支援でも続けていただきたいです
- ・資金、PR、人的支援をお願いしたい
- ・わたしたちは継続的にトレーニングや他のグループの活動を通じて学びたいと思っています。またいくつかのトレーニングに呼んでいただくことを願っています。
- ・小学校における外国人児童のための特別なクラスを、彼らの教育を助けるために提供してほしいです。
- ・プロジェクトに対して資金援助と、活動の認知度を高めるための計画づくりを支援してほしい。

上記アンケート結果より、本事業の取組みは外国人自助組織の活動促進に概ね効果があったと考える。中でも、集合研修や合同イベントにおいて他の組織と交流を図りながら、個別の課題に対しては個々にサポートを行ったことが相乗効果を生み出した。本事業により、事業終了後も外国人自助組織同士が互いに連絡を取り合い、手を取り合うネットワークが形成されたことは、今後の外国人の社会参画の一助となるだろう。

VIII. まとめ

1. 事業の成果と外国人自助組織支援のポイント

本事業は、外国人県民にとって、交流の窓口や各種生活支援サービスの提供といった様々な機能を果たしている外国人自助組織に着目し、その活動を促進することおよび、外国人自助組織を支点に誰もが暮らしやすいコミュニティの実現に資することを目的に実施した。

まず、支援対象となった県内8つの自助組織に聴き取り調査を行い、団体設立経緯や構成員、現在の活動状況や団体が抱えている課題等の把握に努めた。そこからは、情報発信の不足による人材の不足と資金不足といった課題が浮かび上がった。

次に、聴き取り調査の結果をもとに、自助組織が抱える課題の解決および活動の展開に必要な知識やスキルを身につける機会として、集合研修やフィールドワーク、個別サポートを行った。集合研修では、8団体が共通して抱える団体および活動の理解度・認知度アップのための「広報」と団体運営に必要な「活動資金の獲得」を目的に、それぞれ専門家の協力を得て行った。参加者からは知らなかったことを知ることができてとても役立ったという感想が寄せられた。一方で、情報量が多すぎて一度には覚えられない、専門用語が難しいという課題も残された。

また、団体同士のネットワークづくりと他団体の活動を自団体の活動に活かすことを目的に行ったフィールドワークでは、県内の外国人自助組織3団体を訪問し、活動を継続していく上での組織の課題等について意見交換等を行った。ここでは、他団体の取り組みが大変参考になったといった意見や感想が述べられた。

なお、この間に「ワールド・コラボ・フェスタ 2011」への参加と各団体への個別サポートを行った。イベント参加では、外国人自助組織を広く県民に知ってもらう機会を提供できたといった成果が得られたものの、他のイベント等と日程が重なっていたことや各団体との交渉期間の短さなどから当初想定していた程度の主体的な参加・協力には至らなかった。しかし、個別サポートでは、イベントに十分参加できなかったことが次へのモチベーションとなり、その後の集合研修やフィールドワークでの学びを重ね、具体的な課題解決や今後の活動展開に向けて、どの自助組織も主体的に取り組んだ。その結果、自助組織の活動紹介を目的に開催した「外国人コミュニティフェア 2012」にはすべての自助組織が企画段階から参加し、当日もブース出展や歌や伝統舞踊の披露等を積極的に行い、多くの県民を楽しませた。このイベントをきっかけに、自助組織間で来年度以降のイベント開催を検討する声も上がった。

さらに、本事業終了までに6つの自助組織が団体紹介パンフレットを作成し、今後の広報活動や資金獲得等に活用できるツールを得た。

以上より、本事業を通じて得られた主な成果と自助組織支援のためのポイントは、次のようにまとめられる。

<成果>

- ◇ 外国人自助組織が置かれている現状および課題等が把握できた
- ◇ 外国人自助組織が抱える共通課題および個別課題に対して、効果的な解決策を見出すことができた
- ◇ 外国人自助組織の社会参加促進および、ゆるやかなネットワーク構築を促すことができた

<ポイント>

- ◆ 組織の特徴（設立経緯、活動目的、意思決定の仕方等）を理解し尊重すること
- ◆ 継続的に組織の活動状況および成果等を把握し、広く県民に周知すること
- ◆ 市民活動を行う上で必要な情報や制度等の理解が得られる環境をつくること
- ◆ 外国人自身が主体的に活動を行えるよう、寄り添う姿勢を持つこと

2. 今後に向けて

本事業で得られた成果をもとに、今後も多文化共生社会の構築において重要な機能を果たす外国人自助組織に対し、継続的な支援等を行う必要がある。本事業の支援対象となった団体については、事業参加を通じて得た団体運営や各活動に関するノウハウ、作成した広報ツール等を生かし、積極的に活動を展開していくことが期待される。また、今回生まれたネットワークをもとに、必要に応じて他団体とも連携・協働し、地域活動への主体的な参加を通じて、各活動目標の達成に向けて努めてほしい。

一方、県内には、本事業では直接的な支援を行えなかった団体も数多く存在する。今後はそうした団体の現状把握にも努め、ネットワークを拡充し、行政および支援団体をはじめ関係諸機関が話し合いを重ねながら、互いの特徴を生かした連携・協働体制を強化していくことが多文化共生を推進する大きな鍵となるだろう。